

11-40011
活彩

祖谷村 スタート

元気に

五日新聞

06.3.No.107
発行 市岡日出夫
発行 市岡日出夫



三月五日、仮想村、活彩祖谷村の開村式が挙行された。いよいよ、どこにどけい、世界でただ一村の村づくりがスタートしました。
予想(不安)をはるかに越えて五人とが参加し、高橋徹朗村長の開会宣言、いよいよ、祖谷村の村歌にしようと、東祖谷賛歌が会場に流れ、昭和二十年代のビデオ、そしていよいよ開村式。
経過報告の後、奥嶋智代美さんが高らかに「独立宣言文」を読んだ。あけー 熱烈トーク、I LOVE 祖谷。

祖谷村独立宣言文

独立宣言文

おららは、村という行政的単位から自由な村に、
村の心、魂、絆を大切にしたいと、ここに
まっとうな自分たちの意志を打ち立て、
村の魂、絆を大切にしたいと、ここに
村の心、魂、絆を大切にしたいと、ここに
村の心、魂、絆を大切にしたいと、ここに
村の心、魂、絆を大切にしたいと、ここに
村の心、魂、絆を大切にしたいと、ここに

2006.3.5

参加者が次々と、祖谷への想いを話しはじまると、熱気が一員に伝わります。
「合併して、残り残ると不安だったのに、こえはにくて村が残った元気に、この大変な時に、ババア連の言葉に、祖谷村」をスタートしてよかったです、と強く感じました。
中坂王の民謡、徳島極野より、井上さとのグループが、演奏を特別出演。
そして、村長選挙。
不在者投票と今治市が揃っていることが報告されると、大きな拍手がおこる。
選挙の結果、市岡が村長となることになりました。ようこそお越しください。
また、今治からは「任命書」も届いていたり、お祝いも、梅川さん、山本さん、井下さん、開崎商店から、メッセージは藤崎さん、松岡さん、山本さん、梅川さん、森本さん、生田さんからありました、これからはよろしくおねがい致します。



徳島新聞、朝日新聞、読売新聞、四国新聞にとりあげていただき、全国からの問い合わせ、入村希望があり、大変驚かしていると同時にこれから、こうかやれと励まされるようです。
とどかく、村民が輝く村、手づくりで、ゆくりとびんぼろ作りあげる祖谷村です。
村民がささえあい、温い絆を大切にしていこう村づくりです。
誰ごと何処で使っても 村民にほれませ

条件は、田舎が好き、山が好き、祖谷が好き、ひら、年令、国も問いません。一緒に、自分の土屋づくりをはじめませんか。

村内
あつちの福寿草



祖谷村のふたの湖は、11 竜宮崖コテージ、古田旅館、根本商店、天竺山のパン（祖谷）、ホテル奥祖谷（祖谷）、三波流館（山城）、開崎商店（祖谷）、剣山頂上ホテル（不在）